

第2回理事会 報告書

公益財団法人おかやま環境ネットワーク

日時：2013年8月31日(土) 10:00~11:10

会場：岡山市北区奉還町一丁目7-7 オルガ5階会議室ネイビー

出席：理事=9名(理事現在数14名、定足数7名)

議長：青山代表理事

〔議案〕・はじめに新任の、塩飽理事の紹介があった。

1. 第11回おかやまホタルフォーラム主催者の追加を承認した。
2. 未来に残したい岡山の自然・生き物写真コンテストの表彰作品を審査した。
3. 2014年度組織運営(会議日程)を承認した。
4. 第5回おかやま環境シンポジウム企画(2014年2月1日開催)を承認した。
5. 2013年度第6回体験プログラム「アマモ種選別体験」企画(10月12日開催)を承認した。
6. 「シンポジウム これからの里海づくりを考える」を共催することを承認した。

〔報告事項〕

1. 2013年度「環境活動交流会」を6月15日にオルガホールにて開催し、61名の参加があった。交流やネットワーク機能強化を目的に、助成報告会、交流会として開催し、全助成団体からの報告の後、役員による講評があった。また、環境ネットワークの事業紹介や県内環境活動の3例の実践報告があった。
2. 2013年度第1回体験プログラム「高島干潟いきもの観察会」を5月6日に児島湾高島干潟にて開催し、80名の参加があった。漁船で高島に渡り、干潟の役割や現地のいきものについての解説の後、実際に干潟の中に入り、そこにすむいきものたちと触れ合うことで、豊かな多様性を感じ、自然環境について考え、姿を消しつつある「干潟の役割」や「水の中の命のつながり」などの理解につながった。
3. 2013年度第2回体験プログラム「海ホタル夜間観察会」を7月13日に倉敷市大浜海岸にて開催し、62名の参加があった。現地の自然環境やいきものについての解説の後、しかけによる海ホタルの採集体験や砂カニ観察を行い、いのちの大切さ、自然の役割や海の現状などの理解につながった。
4. 2013年度第3回体験プログラム「田んぼの生き物学校」を7月21日に久米郡北庄棚田にて開催し、70名の参加があった。田んぼの生き物の実物をもとにした解説と注意事項の説明の後、棚田についての解説を聴きながら、そこにすむ生き物を採集、観察した。日常体験できない「田んぼの生き物」に触れ、生き物の生態や普段なにげなく食べている「お米」がどのように育っていくのかなどを学んだ。
5. 2013年度第4回体験プログラム「アマモ再生教室(定植後観察会)」を6月17日に笠岡市神島・見崎公会堂と近隣海岸にて開催し、16名の参加があった。今年1月に苗を定植した現地の様子を船上から観察し、成長具合を確認し、その後、公会堂にてアマモの役割などの解説の後、質疑応答し理解を深めた。
6. 2013年度第2回ホタル団体交流会を7月13日に開催し、14団体・19名の参加があった。「第11回おかやまホタルフォーラム」の企画や、来年度のホタルフォーラムを倉敷で開催することなどを確認した後、ホタルの上陸状況を中心に活動交流をすすめた。
7. 7月度未決算状況として、当期収入は予算比112.4%、当期支出は予算比85.6%と、それぞれコントロールできている。当期収支差額は87万円となった。また、7月末会費納入状況は、個人94、団体48、企業等43、合計185会員(前年同期:163会員)となった。今年度に入り個人13、団体4、企業1の合計18会員の入会があった。
8. 今後の会議等スケジュールを確認した。会場は全てオルガ5階。定時理事会:2014年2月22日(土)10~12時、臨時理事会:10月26日(土)10~12時、12月14日(土)10~12時。監事監査:10月17日(木)15時30分~17時。第1回運営委員会:11月13日(水)18時30分~20時30分。第1回助成部会:11月20日(水)18時30分~20時30分。
9. 岡山県主催「自然との共生おかやまフォーラム」の企画紹介があった。